

地域経済成長プランに 基づく取組状況について

地域経済成長プランに基づく取組状況について（取りまとめ）（令和２年４月～令和６年７月末）

- ・ 「地域経済の成長」に向けて、経済戦略局として中期的に産業振興に取り組む計画として、令和２（2020）年３月に「地域経済成長プラン」を改訂し、同プランに位置づけた様々な具体的施策・事業をこれまで推進してきた。
- ・ このたび、プランの対象期間の最終年度にあたり、その取組状況について次のとおり取りまとめる。（令和２年４月～令和６年７月末）

【目次】

● 戦略Ⅰ 経済へダイナミズムをもたらす中小企業の振興

方向性① 前向きに努力する中小企業に対する支援

1 経営課題の解決に向けた総合的支援	4
2 資金調達の円滑化	4
3 技術課題の解決や新技術の開発、技術力の強化	5
4 事業承継の円滑化	6
5 人材の確保・育成	6
6 女性やシニア世代、外国人材等の多様な人材の活躍促進	7
7 生産性の向上	8
8 事業継続力の強化	8
9 新規展示会の誘致	8
10 中小企業の魅力発信や理解増進	9

方向性② 地域特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援

11 商店街・問屋街等の活性化	9
12 ものづくり企業集積の活性化	10
13 区役所との連携による取組	10

● 戦略Ⅱ イノベーションが次々と生まれる好循環づくり

方向性① イノベーション創出や創業の支援

14 イノベーション・エコシステムの構築	11
15 スタートアップ企業の創出・成長の加速	11
16 産学連携による研究開発や事業化の支援	12
17 創業の支援	12
18 創業後の成長段階に応じた支援	13

方向性② 新事業創出や成長分野への参入、海外ビジネス展開等へのチャレンジ支援

19 成長分野等への参入促進、事業化や販路の開拓等	14
20 先端技術を活用した新たなビジネスの創出・成長	14
21 製品・サービス等の高付加価値化	15
22 海外ビジネスの展開	16

方向性③ イノベーションを生み出すビジネス環境整備

23	特区制度等の活用・推進	17
24	イノベーション創出環境の充実に向けたプロジェクトの推進	17
25	民間主導によるイノベーション拠点の整備促進	17
26	企業等の進出、立地の促進	17
27	国際金融都市の実現に向けた取組	18
28	海外都市とのネットワーク等を活かした情報発信やプロモーション	19

● 戦略Ⅲ 交流人口・関連マーケットの拡大によるビジネスチャンスの創出

方向性① 戦略的な MICE 誘致

29	MICE 誘致活動の推進	20
30	インテックス大阪の機能維持・向上	20
31	新規展示会の誘致	21

方向性② 観光地域まちづくりの推進

32	観光マーケティング・プロモーションの強化や観光客の受入環境整備	21
33	世界第一級の文化・観光拠点形成・発信	22
34	エリアブランドの向上	24
35	国際的なスポーツイベントの開催	24
36	プロスポーツとの連携による市場拡大等	25

● 【横断的な重点課題】 大阪・関西万博を契機とした地域経済活力の向上

37	2025 年大阪・関西万博の成功に向けた取組	25
38	地域産業魅力の世界への発信、海外販路開拓の支援	30
39	観光消費の取り込みによる商業集積の活性化	30
40	大阪・関西万博を見据えた中小企業等による新ビジネス創出の支援	31
41	「SDGs 経営」の普及促進・推進支援	32
42	大阪・関西万博への企業参画機会の提供	32

● 【「ウィズコロナ」における取組について】

43	事業継続に向けた支援	34
44	事業環境の変化への適応支援	35
45	地域の消費・需要の喚起・回復	36

戦略Ⅰ 経済へダイナミズムをもたらす中小企業の振興	
※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む	
方向性① 前向きに努力する中小企業に対する支援	1 経営課題の解決に向けた総合的支援 - ワンストップ窓口における専門家によるコンサルティング（経営相談、専門家派遣等）、経営者向けワークショップ・セミナー、マッチングイベントや商談会・交流会、商品開発支援など、ニーズに応じた多様な支援プログラムを実施する。【大阪産業創造館】 - 大阪産業創造館をはじめ各種支援事業をより機動的・弾力的に推進できるような事業執行手法（事業運営を担う大阪産業局に対する交付金制度）を構築・運用する。 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R2：327,126千円】 ◇大阪産業局事業交付金 【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，R6：679,644千円】 ◇頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業 【R4：40,069千円，R5：40,069千円，R6：40,069千円】 ◇DX高度化支援事業 【R4：29,627千円，R5：29,627千円，R6：29,627千円】 （取組実績） ➤ 経営全般に関する相談対応や、時宜に応じたテーマでのセミナー実施、販路開拓に向けたマッチングなど、企業ニーズに即応した様々なプログラムを実施 ➤ 支援事業による経営力強化件数 R2：252件、R3：362件、R4：463件、R5：510件、R6：100件（7月末時点） ➤ 支援サービス利用者満足度 R2：94.4%、R3：94.5%、R4：94.6%、R5：96.0%、R6：95.9%（7月末時点） ➤ 大阪産業創造館における経営相談への対応件数（コンサルタント派遣含む） R2：6,405件、R3：6,557件、R4：7,006件、R5：6,636件、R6：2,242件（7月末時点） ➤ 支援プログラム開催件数 R2：228件、R3：260件、R4：281件、R5：317件、R6：98件（7月末時点） ➤ 大阪産業局に対する交付金制度の構築・運用開始（R3年度～） 2 資金調達の円滑化 - 大阪信用保証協会と連携し、小規模企業者等の経営支援、設備投資や事業継続力強化を支援する本市制度融資等を実施する。 ◇中小企業融資基金繰出金等 【R2：2,807,000千円，R3：2,184,000千円，R4：1,117,000千円，R5：967,000千円，R6：989,000千円】 ◇セーフティネット保証の認定等にかかる事務費等 【R2：63,150千円，R3：48,315千円，R4：34,882千円，R5：32,950千円，R6：37,930千円】

	(取組実績) ➤ 関係機関等と連携した制度融資等の実施やセーフティネット保証の認定窓口強化などを通じて、市内中小企業の円滑な資金調達を支援 ➤ 制度融資の保証承諾実績 R 2 : 44 百万円、R 3 : 46 百万円、R 4 : 3 百万円、R 5 : 34 百万円 ➤ セーフティネット保証等認定件数実績 R 2 : 64, 982 件、R 3 : 10, 425 件、R 4 : 9, 765 件、R 5 : 11, 086 件、 R 6 : 3, 165 件 (7 月末時点)
	<u>3 技術課題の解決や新技術の開発、技術力の強化</u> • 大阪産業技術研究所における技術相談や試験分析、装置・機器の使用機会の提供、受託研究への対応、技術者の養成、産学官連携による研究開発プロジェクト等の組成・推進支援などを実施する。【大阪産業技術研究所】 ◇産業技術研究所運営費交付金等 【R 2 : 1, 373, 655 千円、R 3 : 1, 191, 218 千円、R 4 : 1, 184, 553 千円、R 5 : 1, 208, 546 千円、R 6 : 1, 799, 987 千円】 (取組実績) ➤ 大阪産業技術研究所の技術相談の満足度 R 2 : 98.2%、R 3 : 99.5%、R 4 : 97.7%、R 5 : 97.6% ➤ 受託研究および簡易受託研究実施件数 R 2 : 892 件、R 3 : 959 件、R 4 : 962 件、R 5 : 947 件、R 6 : 343 件 (7 月末時点) ➤ 学会発表・技術講演・主催セミナー等の技術情報の発信件数 R 2 : 489 件、R 3 : 641 件、R 4 : 765 件、R 5 : 860 件、 R 6 : 218 件 (7 月末時点) ➤ 製品化成果事例件数 R 2 : 33 件、R 3 : 31 件、R 4 : 30 件、R 5 : 38 件 ➤ 知的財産出願・保護件数 R 2 : 42 件、R 3 : 33 件、R 4 : 22 件、R 5 : 27 件、R 6 : 6 件 (7 月末時点) ➤ 産学官連携による新産業の創出を促す共同研究開発プロジェクトの組成 R 5 : 電池ワーキンググループ設立、メンバー61 社 R 6 : 次世代高速通信ワーキンググループ設立、メンバー68 社 • 中小企業の技術相談に対応するとともに、地域の企業との産学連携により、研究成果や技術の移転、新たな技術や事業開発等を支援する。【大阪公立大学】 ◇公立大学運営費交付金等 【R 2 : 15, 941, 461 千円、R 3 : 17, 359, 654 千円、R 4 : 22, 788, 191 千円、 R 5 : 30, 777, 845 千円、R 6 : 36, 184, 783 千円】 (取組実績) ➤ URA センターにおいて、共同研究等に向けた技術相談を実施するなど、産学連携を推進する取組を実施 ➤ 技術相談件数 R 2 : 15 件、R 3 : 13 件、R 4 : 11 件、R 5 : 43 件、R 6 : 26 件 (7 月末時点)

4 事業承継の円滑化

- 事業承継に関する相談に専門家が対応するほか、事業承継の必要性の啓発や基礎知識習得のためのセミナーや、後継者人材のためのビジネススクール等を実施する。【大阪産業創造館】
 - 大阪府事業承継ネットワークに参画し、オール大阪の関係支援機関との連携強化を図る。
 - ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業
【R2：327,126千円】（再掲）
 - ◇大阪産業局事業交付金
【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，
R6：679,644千円】（再掲）
- （取組実績）
- 大阪産業創造館における経営相談への対応件数（コンサルタント派遣含む）（再掲）
R2：6,405件、R3：6,557件、R4：7,006件、R5：6,636件、
R6：2,242件（7月末時点）
 - 事業承継にかかるセミナー開催件数
R2：1件、R3：2件、R4：7件、R5：6件、R6：2件（7月末時点）
 - 「大阪府事業承継ネットワーク」への参画

5 人材の確保・育成

- 「人材に関わる課題解決プログラム」として、人材を活かす組織づくりや働きやすい職場環境整備（人事・組織、労務管理、福利厚生等）をはじめ、社内人材のスキルアップに向けた講座・セミナーや専門家による相談対応を実施する。【大阪産業創造館】
 - ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業
【R2：327,126千円】（再掲）
 - ◇大阪産業局事業交付金
【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，
R6：679,644千円】（再掲）
- （取組実績）
- 大阪産業創造館における経営相談への対応件数（コンサルタント派遣含む）（再掲）
R2：6,405件、R3：6,557件、R4：7,006件、R5：6,636件、
R6：2,242件（7月末時点）
 - 人材にかかるセミナー開催件数
R2：8件、R3：6件、R4：17件、R5：12件、R6：8件（7月末時点）
-
- ものづくり企業と工業系高校の進路担当者等との交流会を実施し、人材不足に直面するものづくり企業の人材確保につなげる。

（取組実績）

 - 工業高校等とものづくり企業との交流会 参加企業数・学校数・参加者満足度
※R2は新型コロナの影響により中止
R3：14社・9校（オンライン開催）・取り組みにかかる満足度100%
R4：19社・10校・参加者満足度96%
R5：18社・7校・参加者満足度100%
R6：15社・9校・参加者満足度96%
-
- 大企業等から中小・ベンチャー企業への人材の流動化（転籍・兼業・副業、期間限定で

	の派遣等)を促進する。 ◇イノベーション人材の育成・流動化促進事業【R2:25,000千円】 ◇大阪産業局事業交付金【R3:676,038千円,R4:669,674千円,R5:669,228千円,R6:679,644千円】(再掲) (取組実績) ➤ 人材派遣等に関する契約締結件数 R2:30件、R3:2件、R4:2件、R5:8件、R6:2件(7月末時点)
	6 女性やシニア世代、外国人材等の多様な人材の活躍促進 ・ 多様な人材を活かす組織づくり等に関する講座・セミナー、女性後継者の交流会(座談会、グループディスカッション等)など、女性やシニア世代等の活躍促進の取組を推進する。【大阪産業創造館】 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R2:327,126千円】(再掲) ◇大阪産業局事業交付金 【R3:676,038千円,R4:669,674千円,R5:669,228千円,R6:679,644千円】(再掲) (取組実績) ➤ 人材にかかるセミナー開催件数(再掲) R2:8件、R3:6件、R4:17件、R5:12件、R6:8件(7月末時点) ➤ 女性後継者交流会開催件数 R2~4:新型コロナの影響により中止、R5:0件 ・ 外国人材の確保に関するセミナーの開催や留学生の起業支援、関係機関等との連携による人材戦略構築や人材採用の支援に向けた取組を進めるなど、外国人材の活躍促進を図る。 ・ 生活者としての外国人材を支援するため、在留手続きや雇用、医療、福祉、子どもの教育など、生活にかかる情報提供や相談対応等を行う。 ◇外国人留学生との連携拡大及び起業支援 【R2:4,546千円、R4:4,285千円、R5:4,326千円】 ◇外国人材マッチングプラットフォーム構築に向けた調査 【R3:1,000千円】 ◇外国人材マッチングプラットフォーム 【R4:15,000千円、R5:15,000千円、R6:15,000千円】 ◇大阪国際交流センター事業交付金等 【R2:411,952千円、R3:519,417千円、R4:573,570千円、R5:220,990千円、R6:290,356千円】 (取組実績) ➤ 留学生向け起業支援セミナー開催件数 R2:2件、R3:新型コロナの影響により未実施、R4:2件、R5:2件 ➤ 中小企業の人材不足への対応として、外国人材の受け入れ促進を図るため、官民連携により設置を検討している「外国人材マッチングプラットフォーム」の構築に向けた調査を実施。R4年7月に同プラットフォームを立ち上げ、大阪産業局を事務局とした大阪外国人材採用支援センターにおいて支援を開始。 ➤ 中小企業の人材に関する課題解決につながった件数 R4:79件、R5:122件、R6:59件(7月末時点)

	➤ 大阪国際交流センターにおける相談対応件数 R 2 : 5,046 件、R 3 : 4,261 件、R 4 : 4,435 件、R 5 : 4,075 件、 R 6 : 1,246 件（7 月末時点） <u>7 生産性の向上</u> ・ 中小企業等経営強化法に基づき、市内中小企業における生産性向上に向けた「先端設備等導入計画」の認定制度を実施する。 ・ 認定計画に基づく設備投資にかかる償却資産の固定資産税特例措置（3 年間 1/2 軽減等）や、設備導入の資金調達を支援する制度融資（設備投資応援融資）を実施する。 （取組実績） ➤ 先端設備等導入計画認定件数 R 2 : 102 件、R 3 : 141 件、R 4 : 131 件、R 5 : 178 件、 R 6 : 32 件（7 月末時点） <u>8 事業継続力の強化</u> ・ 大阪商工会議所と共同で策定する「事業継続力強化支援計画」に基づき、国の事業継続力強化計画認定制度の活用促進をはじめ、事業継続計画（BCP）に関するセミナー等の開催、専門家の相談対応や派遣・指導等により、中小企業における BCP 策定の支援を行う。【大阪産業創造館等】 ・ 国の認定を受けた「（連携）事業継続力強化計画」に基づく、中小企業者の設備導入の資金調達を支援する制度融資（事業継続力強化応援融資）を実施する。 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R 2 : 327,126 千円】（再掲） ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676,038 千円、R 4 : 669,674 千円、R 5 : 669,228 千円、 R 6 : 679,644 千円】（再掲） （取組実績） ➤ BCP にかかるセミナー開催件数 R 2 : 1 件、R 3 : 2 件、R 4 : 5 件、R 5 : 3 件、R 6 : 1 件（7 月末時点） ➤ BCP 策定・演習サポートプログラムによる支援企業数 R 2 : 6 社、R 3 : 5 社、R 4 : 24 社、R 5 : 33 社 ➤ 大阪産業創造館で提供しているツール「コンパクト BCP」視聴回数 R 2 : 716 回、R 3 : 3,120 回、R 4 : 2,296 回、R 5 : 2,694 回、 R 6 : 1,531 回（7 月末時点） <u>9 新規展示会の誘致</u> ・ 中小企業への新たな商談機会の提供に向けて、新規展示会の誘致を目的とした展示会主催者への助成を実施する。 ◇新規展示会誘致助成事業 【R 2 : 34,000 千円、R 3 : 30,450 千円、R 4 : 30,000 千円、 R 5 : 30,000 千円、R 6 : 18,000 千円】 （取組実績） ➤ 新規見本市展示会誘致件数 R 2 : 7 件、R 3 : 4 件、R 4 : 1 件、R 5 : 2 件 ➤ 延べ来場者数 R 2 : 44,355 人、R 3 : 23,081 人、R 4 : 8,445 人、R 5 : 27,718 人
--	---

10 中小企業の魅力発信や理解増進

- ・「中小企業の日（7月20日）」に関連し、中小企業の魅力を発信し、重要性について理解を深めるための情報発信の取組を実施する。

◇産業振興・中小企業支援施策の企画推進サポート事業

【R2：16,326千円】

◇大阪産業局事業交付金

【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，
R6：679,644千円】（再掲）

（取組実績）

- 大阪府、大阪府中小企業家同友会との共催により、「中小企業の日」に関連するイベントを実施
- 中小企業の魅力が伝わる記事を取りまとめたWebコンテンツ「今だから読みたい中小企業のお話」を作成し、産業創造館ホームページに掲載

方向性② 地域特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援

11 商店街・問屋街等の活性化

- ・新たな魅力づくりに向けたハード事業（アーケードや街路灯等の施設整備、オープンモール化等）の支援をはじめ、ふるさと寄附金制度を活用した商店街や個店の魅力発信、専門家（あきない伝道師）の派遣による集客力・販売力強化に向けた実践的な取組の支援を行う。
- ・関係機関等と連携し、消費拡大に向けたイベント・キャンペーンを展開するとともに、インバウンド等の観光消費の取り込みに向けたおもてなし機運の醸成、先進的なモデル事例創出等に取り組む。

◇商業魅力向上事業

【R2：45,034千円，R3：45,028千円，R4：44,998千円，
R5：70,390千円，R6：67,986千円】

◇あきない伝道師による商店街強化事業

【R2：13,855千円，R3：12,243千円，R4：11,223千円，
R5：4,911千円，R6：3,540千円】

◇「商都大阪」活性化推進事業

【R2：10,000千円，R3：10,000千円，R4：10,000千円，
R5：10,000千円】

◇商店街空き店舗マッチング促進事業

【R4：5,000千円，R5：1,200千円，R6：1,200千円】

（取組実績）

- 商店街等ハード事業支援件数

R2：10件、R3：12件、R4：16件、R5：16件

商店街等ハード事業により、来街者の満足度が向上したと回答した商店街等の割合

R2：100%、R3：100%、R4：100%、R5：100%

- あきない伝道師派遣（派遣団体数・派遣回数）

R2：13団体・計61回、R3：21団体・計108回、R4：25団体・計129回、
R5：15団体・計108回、R6：12団体・計14回（7月末時点）

- あきない伝道師派遣によって実際に商店街の活性化が図られたと回答した商店街等の割合

	R 2 : 62%、R 3 : 86%、R 4 : 80%、R 5 : 100% ➤ 商店街振興ふるさと寄附金額 R 2 : 7,970 千円、R 3 : 17,973 千円、R 4 : 32,637 千円、R 5 : 29,633 千円、 R 6 : 4,319 千円（7 月末時点） ➤ にぎわい創出事業参加商店街数 R 2 : 22 商店街、R 3 : 31 商店街、R 4 : 42 商店街、R 5 : 98 商店街、 R 6 : 4 商店街（7 月末時点） ➤ 「商都大阪」活性化推進事業による、事業参加者・団体が観光誘客に取り組みたいと回答した割合 R 2 : 新型コロナの影響によりセミナー開催なし、R 3 : 100% ➤ 「商都大阪」活性化推進事業による、地域商業の活性化が図られた割合 R 4 : 75%、R 5 : 65%
	<u>12 ものづくり企業集積の活性化</u> - 工場立地法にかかる緑地面積率の緩和、不動産事業者等との連携による市内工場用地や貸工場の情報提供を行うことにより、ものづくり操業環境の改善に取り組む。 - 優れた技能者（テクノマスター）による技能の伝承や将来のものづくりを担う人材の育成、高度な技術を有する中小企業等の魅力発信等の活動を展開する。 - 地域のものづくり企業の個別訪問を通じて、課題等の把握や各種支援策の活用支援等を行うアウトリーチ活動を充実し、支援策の効果的な立案・推進やものづくり企業集積の活性化につなげる。 ◇大阪テクノマスター事業 【R 2 : 1,299 千円、R 3 : 993 千円、R 4 : 993 千円、R 5 : 993 千円、 R 6 : 993 千円】 ◇大阪の産業資源を活用した魅力発信事業 【R 2 : 37,178 千円、R 3 : 37,093 千円】 （取組実績） ➤ 工場用地等情報提供数 R 2 : 1 件、R 3 : 1 件、R 4 : 0 件、R 5 : 0 件、R 6 : 1 件（7 月末時点） ➤ 協力宅建事業者数 1 社（R 6. 7 月末時点） ➤ 大阪テクノマスター認定者による活動（延べ人数） R 2 : 20 人、R 3 : 39 人、R 4 : 37 人、R 5 : 22 人 R 6 : 5 人（7 月末見込数） ➤ 「大阪らしい魅力」を発信する参加企業（魅力発信事業参加企業数） R 2 : 18 社、R 3 : 18 社
	<u>13 区役所との連携による取組</u> 局及び区役所における地域企業の支援・活性化の取組に関する情報や先進事例、ノウハウやネットワーク等の共有を図ることにより、活動の展開・拡大を促進する。 （取組実績） ➤ 区役所との意見交換会等開催件数 R 2 : 2 回、R 3 : 2 回、R 4 : 2 回、R 5 : 2 回

戦略Ⅱ イノベーションが次々と生まれる好循環づくり

※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む

方向性① イノベーション創出や創業の支援

14 イノベーション・エコシステムの構築

- ・「大阪イノベーションハブ（OIH）」において、うめきた2期区域開発の動きとも連携しつつ、グローバルビジネスの創出に向けた各種支援プログラム（アイデアソン・ハッカソン・ピッチイベント、大企業とのオープンイノベーションマッチングなど）を実施するとともに、世界への発信や地位の確立に向けて国際イノベーション会議を開催する。

◇グローバルイノベーション創出支援事業

【R2：190,999千円】

◇大阪産業局事業交付金

【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，
R6：679,644千円】（再掲）

◇イノベーション創出にかかる事務費

【R3：126,537千円，R4：130,996千円，R5：129,975千円，
R6：129,500千円】

（取組実績）

➤ プロジェクトの創出・推進支援件数

R2：54件、R3：80件、R4：83件、R5：98件

➤ 既存企業や大学などが参画するOIHパートナー会員の純増数

R2：44者、R3：37者、R4：53者、R5：33者

※起業家等の会員数：1,243者・パートナー会員：469者（R5.3月末時点）

➤ ピッチイベントの回数

R2：47回、R3：64回、R4：61回、R5：61回

➤ 国際イノベーション会議参加者数（オンライン）

R2：960人、R3：801人、R4：810人、R5：713人

15 スタートアップ企業の創出・成長の加速

- ・大阪府や経済界などと連携し、世界から人材、投資、最先端技術等を呼び込み、数多くのスタートアップ企業の創出・成長を加速する「スタートアップ・エコシステム拠点都市」形成に向けた取組を推進する。
- ・先輩起業家のアドバイスや大企業・シードアクセラレーター（ベンチャー育成投資家）等との連携機会の提供、投資等成長資金の獲得支援、海外での実践的研修などのアクセラレーションプログラムを実施する。

◇大阪産業局事業交付金

【R3：676,038千円，R4：669,674千円，R5：669,228千円，
R6：679,644千円】（再掲）

◇スタートアップ・エコシステム拠点都市事業

【R3：24,985千円，R4：24,985千円，R5：24,985千円，R6：24,985千円】

◇カーボンニュートラル（CN）等新技術ビジネス創出支援事業

【R4：30,000千円，R5：30,000千円，R6：30,000千円】

（取組実績）

➤ 令和2年7月、国から「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」に選定

➤ 国アクセラレーションプログラム参加企業のサポートを実施。

	R 2 : 5 社、R 3 : 13 社、R 4 : 11 社、R 5 : 3 社 ➤ 0IH シードアクセラレーションプログラム (OSAP) 支援企業数 R 2 : 20 社、R 3 : 16 社、R 4 : 12 社、R 5 : 12 社 ➤ 支援プログラムにおける資金調達額 R 2 : 43 億円、R 3 : 84 億円、R 4 : 139 億円、R 5 : 93 億円 16 産学連携による研究開発や事業化の支援 - 大学と企業等との共同研究開発に対する補助を行うなど、産学連携を促進し、大学の研究・技術シーズの実用化の加速やイノベーションの創出につなげる。 ◇イノベーション創出支援補助金 【R 2 : 13,000 千円、R 3 : 13,000 千円、R 4 : 13,000 千円、 R 5 : 13,000 千円、R 6 : 13,000 千円】 (取組実績) ➤ イノベーション創出支援補助金採択事業数 R 2 : 7 件、R 3 : 9 件、R 4 : 10 件、R 5 : 9 件 17 創業の支援 - 創業に関する基礎知識の習得や課題解決のためのセミナー・講座や交流会、各分野の専門家によるコンサルティングを実施するとともに、創業準備活動のためのスペースを提供する。【大阪産業創造館】 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R 2 : 327,126 千円】(再掲) ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676,038 千円、R 4 : 669,674 千円、R 5 : 669,228 千円、 R 6 : 679,644 千円】(再掲) (取組実績) ➤ 産業創造館の支援事業による創業・起業件数 R 2 : 125 件、R 3 : 143 件、R 4 : 121 件、R 5 : 132 件、 R 6 : 29 件 (7 月末時点) ➤ 産業創造館における創業支援事業の支援者数 R 2 : 2,085 件、R 3 : 2,460 件、R 4 : 4,742 件、R 5 : 4,179 件 「外国人起業促進支援窓口」を設置し、外国人の起業活動の在留資格(通称:スタートアップビザ)の認定申請に必要となる「起業準備活動計画」の作成支援や、認定後の起業準備活動のサポートを行い、外国人起業家の受入拡大や起業促進を図る。【大阪産業創造館 ※令和5年8月より 0IH】 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R 2 : 327,126 千円】(再掲) ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676,038 千円、R 4 : 669,674 千円、R 5 : 669,228 千円、R 6 : 679,644 千円】(再掲) (取組実績) ➤ 外国人起業活動促進事業にかかる確認証明書発行件数 R 2 : 7 件、R 3 : 5 件、R 4 : 6 件、R 5 : 11 件、R 6 : 8 件 (7 月末時点) - ものづくりによる創業希望者に対して、実験設備を備えた創業支援研究室を提供する
--	--

	ほか、研究員による技術指導・助言等を行う。【大阪産業技術研究所】 ◇産業技術研究所運営費交付金等 【R 2 : 1,373,655 千円, R 3 : 1,191,218 千円, R 4 : 1,184,553 千円, R 5 : 1,208,546 千円, R 6 : 1,799,987 千円】(再掲) (取組実績) ➤ 創業支援研究室、開放研究室入居数 R 2 : 9 件、R 3 : 9 件、R 4 : 9 件、R 5 : 9 件、R 6 : 9 件 (7 月末時点) ※入居率 100% ・大学の知的資源を活用した大学発ベンチャーの創出や成長に向けて、インキュベータ施設の提供等により支援するとともに、新事業やソーシャルビジネスの担い手の育成を図るため、社会人大学院(都市経営研究科都市ビジネスコース)において必要な知識等を体系的に提供する。【大阪公立大学】 ◇公立大学運営費交付金等 【R 2 : 15,941,461 千円, R 3 : 17,359,654 千円, R 4 : 22,788,191 千円, R 5 : 30,777,845 千円、R 6 : 36,184,783 千円】(再掲) (取組実績) ➤ 公立大学社会人大学院における創業前支援(開講科目・履修者数) 【R 2】開講科目: 4 科目、履修者数計: 86 名 ・イノベーションマネジメント論 32 名(前期開講) ・アントレプレナーシップ論 21 名(後期開講) ・ビジネスモデル論 20 名(後期開講) ・e-マーケティング 13 名(後期開講) 【R 3】開講科目: 4 科目、履修者数計: 72 名 ・イノベーションマネジメント論 25 名(前期開講) ・アントレプレナーシップ論 20 名(後期開講) ・ビジネスモデル論 16 名(後期開講) ・e-マーケティング 11 名(後期開講) 【R 4】開講科目: 1 科目、履修者数計: 18 名 ・イノベーションマネジメント論 18 名(前期開講) 【R 5】開講科目: 4 科目、履修者数計: 81 名 ・イノベーションマネジメント論 32 名(前期開講) ・地域アントレプレナーシップ論 19 名(後期開講) ・ビジネスモデル論 18 名(後期開講) ・e-マーケティング 12 名(後期開講) 【R 6】開講科目: 1 科目、履修者数計 25 名(7 月末時点) ・イノベーションマネジメント論 25 名(前期開講)
	18 創業後の成長段階に応じた支援 ・支援先企業の創業後の状況を把握し、その成長段階に応じて、専門家によるコンサルティングや様々なプログラムを組み合わせるフォローアップするなど、事業の成長や継続率の向上に向けたきめ細かな支援を行う。【大阪産業創造館】 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R 2 : 327,126 千円】(再掲) ◇大阪産業局事業交付金

	【R 3 : 676,038 千円, R 4 : 669,674 千円, R 5 : 669,228 千円, R 6 : 679,644 千円】(再掲) (取組実績) ➤ 大阪産業創造館における経営相談への対応件数(コンサルタント派遣含む)(再掲) R 2 : 6,405 件、R 3 : 6,557 件、R 4 : 7,006 件、R 5 : 6,636 件、 R 6 : 2,242 件(7月末時点) ➤ 支援プログラム開催件数(再掲) R 2 : 228 件、R 3 : 260 件、R 4 : 281 件、R 5 : 317 件、 R 6 : 98 件(7月末時点)
	方向性② 新事業創出や成長分野への参入、海外ビジネス展開等へのチャレンジ支援
	<u>19 成長分野等への参入促進、事業化や販路の開拓等</u> ・ 成長性が期待されるプロジェクトに対して市場投入から販路拡大まで伴走支援し、成長分野への参入促進や事業化を支援し、リーディング企業の創出・育成を図る。 ◇大阪トップランナー育成事業 【R 2 : 68,917 千円】 ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676,038 千円, R 4 : 669,674 千円, R 5 : 669,228 千円, R 6 : 679,644 千円】(再掲) (取組実績) ➤ プロジェクト認定件数 R 2 : 9 件、R 3 : 9 件、R 4 : 9 件、R 5 : 10 件 ➤ プロジェクト認定を受けた企業のうち、新製品・サービスの事業化促進に効果があったと回答した割合 R 2 : 94.7%、R 3 : 94%、R 4 : 90%、R 5 : 93% ・ 「介護・福祉・健康分野」や「環境・エネルギー分野」に関する製品・サービスの展示場を設置し、販路開拓等の支援を行う。 ◇ATC エイジレスセンター事業 【R 2 : 359,465 千円, R 3 : 359,465 千円, R 4 : 361,383 千円, R 5 : 349,691 千円, R 6 : 349,691 千円】 ◇ATC グリーンエコプラザ事業 【R 2 : 214,078 千円, R 3 : 214,078 千円, R 4 : 215,220 千円, R 5 : 208,257 千円, R 6 : 208,257 千円】 (取組実績) ➤ ATC エイジレスセンターへの出展企業数・ビジネスマッチング件数 R 2 : 76 社・558 件、R 3 : 85 社・707 件、R 4 : 87 社・705 件、 R 5 : 94 社・1,584 件、R 6 : 94 社・341 件(7月末時点) ➤ ATC グリーンエコプラザへの出展企業数・ビジネスマッチング件数 R 2 : 95 社・141 件、R 3 : 105 社・295 件、R 4 : 110 社・337 件、 R 5 : 120 社・468 件、R 6 : 124 社・189 件(7月末時点)
	<u>20 先端技術を活用した新たなビジネスの創出・成長</u> ・ 起業家等によるアドバイスや技術支援、マッチング、セミナーや研究会の開催、インキュベーションオフィスの提供、IoT ビジネスに特化したビジネス創出プログラムの実施など、IoT やロボットテクノロジー等の先端技術を活用した新たなビジネスの創

	出・成長を支援する。 ・ 先端技術を活用した製品・サービスの開発や社会実装に不可欠な実証実験を促進するため、大阪府や大阪商工会議所との連携等により、効果的な実証実験となるようコーディネートを実施し、公共空間・商業施設等を実証フィールドとして提供する。 ◇ソフト産業プラザ事業 【R 2 : 123, 101 千円】 ◇IoT・ロボットビジネス創出事業 【R 2 : 37, 392 千円】 ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676, 038 千円, R 4 : 669, 674 千円, R 5 : 669, 228 千円, R 6 : 679, 644 千円】(再掲) ◇5Gビジネス創出プロジェクト 【R 3 : 49, 605 千円, R 4 : 61, 705 千円, R 5 : 88, 426 千円, R 6 : 81, 323 千円】 ◇イノベーション創出にかかる事務費 【R 3 : 126, 537 千円, R 4 : 130, 996 千円, R 5 : 129, 975 千円, R 6 : 129, 500 千円】(再掲) (取組実績) ➤ ソフト産業プラザ(インキュベーションオフィス)入居率 R 2 : 82.5%、R 3 : 92.2%、R 4 : 94.0%、R 5 : 86.2%、R 6 : 79.4%(7月末時点) ➤ 5Gの技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」において「5Gビジネス創出プロジェクト」として、5Gの機運醸成からビジネス構築までの各種プログラム(セミナー・研究会、ビジネスアイデアコンテスト、マッチングプログラム、5Gビジネス補助事業)を実施。(R 3～) ➤ 5Gビジネス開発補助金採択件数 R 3 : 5件、R 4 : 5件、R 5 : 5件、R 6 : 3件(7月末時点) ➤ 実証実験の支援件数(IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラムによる支援件数) R 2 : 8件、R 3 : 10件、R 4 : 12件、R 5 : 13件、R 6 : 6件(7月末時点) ➤ 「大阪府・大阪市と株式会社 SkyDrive との連携協定」締結(令和3年9月:空飛ぶクルマ)
	21 製品・サービス等の高付加価値化 ・ 高付加価値な製品・サービスの創出につながるよう、クリエイターのネットワークを活かし、クリエイターとものづくり企業等異業種企業との協働を促すビジネスイベントの開催やマッチング支援等を行う。 ◇クリエイティブ産業創出・育成支援事業 【R 2 : 109, 866 千円】 ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676, 038 千円, R 4 : 669, 674 千円, R 5 : 669, 228 千円, R 6 : 679, 644 千円】(再掲) (取組実績) ➤ クリエイターと企業とのマッチング件数 R 2 : 366件、R 3 : 413件、R 4 : 415件、R 5 : 443件 ➤ ビジネスマッチングイベントの開催回数

	R 2 : 9 件、R 3 : 31 件、R 4 : 27 件、R 5 : 30 件、R 6 : 32 件（7 月末時点） - デザインビジネスの活性化に向けて、デザイナーや関連企業を対象としたセミナーやイベント・交流会等を実施するとともに、創業間もないデザイナーの育成のため、インキュベーションオフィスの提供や常駐スタッフによるサポートを行う。 ◇大阪デザイン振興プラザ事業 【R 2 : 195, 687 千円、R 3 : 195, 687 千円、R 4 : 196, 731 千円、 R 5 : 190, 366 千円、R 6 : 190, 366 千円】 （取組実績） ➤ セミナー・展示会等開催回数 R 2 : 22 件、R 3 : 23 件、R 4 : 44 件、R 5 : 48 件、R 6 : 7 件（7 月末時点） ➤ デザイン振興プラザ（インキュベーションオフィス）入居率 R 2 : 73.1%、R 3 : 59.3%、R 4 : 66.7%、R 5 : 63%、R 6 : 64.3%（7 月末時点）
	<u>22 海外ビジネスの展開</u> - 様々な海外展開支援機関と連携してワンストップ窓口を整備し、海外市場や貿易実務、海外販路開拓の専門家によるコンサルティング等、中小企業の海外ビジネス展開の支援を行う。 - 姉妹都市やビジネスパートナー都市等の都市間ネットワークを活かし、海外見本市への出展支援や海外・国内商談会の開催、企業ミッション団の派遣などを実施し、海外ビジネスの展開を支援する。 - 上海事務所を設置・運営し、現地でのネットワークを活かして在阪企業のビジネス展開支援を行う。 ◇貿易振興事業 【R 2 : 3, 600 千円、R 3 : 3, 600 千円、R 4 : 3, 600 千円、R 5 : 3, 600 千円、 R 6 : 3, 600 千円】 ◇ビジネスパートナー都市等交流事業 【R 2 : 63, 342 千円、R 3 : 63, 282 千円、R 4 : 64, 166 千円、 R 5 : 65, 092 千円、R 6 : 66, 520 千円】 ◇海外事務所の運営 【R 2 : 34, 244 千円、R 3 : 34, 039 千円、R 4 : 37, 482 千円、 R 5 : 42, 190 千円、R 6 : 43, 137 千円】 （取組実績） ➤ 経済ミッション等の派遣 R 2 : 新型コロナの影響により未実施、R 3 : 2 件※、R 4 : 2 件、R 5 : 2 件、 R 6 : 1 件（7 月末時点） ➤ 海外市場でのビジネス支援事業により、海外展開が企業経営に貢献すると回答した企業の割合 R 2 : 91%、R 3 : 96%、R 4 : 98%、R 5 : 99% ➤ 海外商談会開催件数 R 2 : 2 件・14 社、R 3 : 3 件・18 社、R 4 : 1 件・4 社、R 5 : 1 件・8 社 ➤ 海外見本市出展支援 R 2 : 1 件・6 社、R 3 : 1 件・4 社、R 4 : 2 件・8 社、R 5 : 2 件・10 社 ➤ 国内商談会開催件数

	R 2 : 4 件、R 3 : 4 件、R 4 : 4 件、R 5 : 4 件 ➤ 国内セミナー開催件数 R 2 : 5 件、R 3 : 2 件、R 4 : 2 件、R 5 : 2 件 ※R 3 年度経済ミッション等の派遣については、代替事業としてオンラインセミナー及び商談会を実施 ※R 2・3 年度について、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により上記商談会・セミナーについては全てオンラインにて実施 ※R 3 年度海外見本市出展については、4 社中 3 社がリアルで出展 ※R 4 年度について、国内商談会、国内セミナーはオンラインでの実施。
	方向性③ イノベーションを生み出すビジネス環境整備
	23 特区制度等の活用・推進 - 関西イノベーション国際戦略総合特区や国家戦略特区の制度による規制緩和や税制支援等を活用することにより、大阪の強みを活かした魅力的なビジネス環境の整備を図る。 (取組実績) ➤ 国家戦略特区 - 大阪市域における区域計画の認定・活用 (H26. 5 月～) : 8 事業 ➤ 関西イノベーション国際戦略総合特区 - 大阪市域における区域計画の認定・活用 (H23. 12 月～) : 7 プロジェクト
	24 イノベーション創出環境の充実に向けたプロジェクトの推進 - 大阪府や関係部局、関係機関等と連携し、スマートシティ化や国の政策に対応したプロジェクト (スーパーシティ構想等) の推進などを図り、先端技術の社会実装やイノベーションの創出、投資等を呼び込む環境の整備につなげる。 (取組実績) ➤ スーパーシティ型国家戦略特別区域における区域計画の認定・活用 (R 5. 10 月～) : 2 事業【デジタル統括室所管】
	25 民間主導によるイノベーション拠点の整備促進 - イノベーション創出やベンチャー企業等の成長を支援する民間主導のプラットフォーム整備を支援し、ビジネス環境の充実につなげる。 ◇企業立地促進助成事業 【R 2 : 120,310 千円, R 3 : 84,721 千円, R 4 : 2,396 千円】 (取組実績) ➤ 事業計画承認件数 (H29. 7 月～) : 15 件 ※R 元年度新規受付終了
	26 企業等の進出、立地の促進 - 大阪への投資有望企業等の情報収集やアプローチを実施するとともに、進出検討企業の相談窓口の運営、進出準備のための無料オフィスの提供、土地・物件情報の提供など、大阪進出に必要なきめ細かなサポートを実施する。 - 新エネルギーやライフサイエンスに関連する先進的な事業を行う企業が国際戦略総合特区に進出する際、地方税ゼロ制度を適用することによって当該区域への立地を促進・支援する。 ◇企業等誘致・集積推進事業 【R 2 : 76,578 千円, R 3 : 74,077 千円, R 4 : 72,906 千円,

	R 5 : 73,084 千円, R 6 : 73,348 千円】 ◇本社機能立地促進助成事業 【R 4 : 14,421 千円, R 5 : 57,606 千円, R 6 : 50,243 千円】 ◇国際戦略総合特区における税優遇インセンティブの実施 【(事業運営経費) R 2 : 368 千円, R 3 : 368 千円, R 4 : 368 千円, R 5 : 368 千円, R 6 : 368 千円】 (取組実績) ➤ BS0 (ビジネスサポートオフィス) を利用した企業の市内進出率 R 2 : 83% (5 件)、R 3 : 100% (3 件)、R 4 : 100% (4 件)、R 5 : 100% (9 件)、R 6 : 100% (2 件) (7 月末時点) ➤ 企業等誘致件数 R 2 : 22 件、R 3 : 22 件、R 4 : 34 件、R 5 : 48 件、R 6 : 10 件 (7 月末時点) ➤ 立地プロモーションセミナーの開催 R 2 : オンライン (12 月) R 3 : オンライン (11 月) 参加者数 : 94 名 R 4 : ハイブリッド (11 月) 参加者数 : 94 名 R 5 : ハイブリッド (9 月) 参加人数 : 44 名 R 6 : 対面 (10 月開催予定) ➤ 地方税インセンティブ対象の事業計画認定件数 (H24.12 月～R 6.7 月末) : 11 件
	<u>27 国際金融都市の実現に向けた取組</u> ・ 官民一体の推進組織「国際金融都市 OSAKA 推進委員会」において、大阪の強みや課題の調査・分析等を行い、海外事業者等を大阪に呼び込むための効果的な施策の具体化を図るとともに、専門家の意見等を踏まえた上で目標を設定し、独自の個性・機能を持つ国際金融都市の実現に向けて取り組む。 ◇国際金融都市の実現に向けた取組 【R 3 : 25,000 千円】 ◇国際金融都市推進事業 【R 4 : 51,500 千円, R 5 : 51,500 千円, R 6 : 98,125 千円】 (取組実績) ➤ 国際金融都市の実現をめざす、官民一体の推進組織「国際金融都市 OSAKA 推進委員会」設立総会開催 (R 3.3 月) ➤ ポータルサイト「Global Financial City Osaka」の開設 (R 3.10 月) ➤ 「国際金融ワンストップサポートセンター大阪」開設 (R 3.12 月) ➤ 「国際金融都市 OSAKA 戦略」策定 (R 4.3 月) ➤ 金融系外国企業等拠点設立補助金制度の創設 (R 5.4 月) ➤ 金融系外国企業等に係る地方税の課税の特例制度の創設 (R 5.11 月) ➤ 金融庁が金融・資産運用特区の対象地域に大阪府・大阪市を指定 (R 6.6 月) ➤ 国際金融ワンストップサポートセンター大阪の相談件数 R 4 : 54 件、R 5 : 91 件、R 6 : 31 件 (7 月末時点) ➤ 金融系外国企業等の誘致件数 R 4 : 1 件、R 5 : 12 件、R 6 : 2 件 (7 月末時点)

28 海外都市とのネットワーク等を活かした情報発信やプロモーション

- ・ 姉妹都市等とのネットワークを戦略的に活用し、海外現地でのプロモーションセミナーやトップセールスなどを実施する。
- ・ 大阪府や大阪商工会議所と組織した「大阪外国企業誘致センター（O-BIC）」等と連携し、大阪の投資環境等の関連情報の発信やプロモーション活動を展開する。

◇姉妹都市ネットワークを活用した都市間交流の推進

【R 2 : 14,602 千円, R 3 : 8,720 千円, R 4 : 11,121 千円, R 5 : 16,512 千円, R 6 : 35,185 千円】

◇企業等誘致・集積推進事業

【R 2 : 76,578 千円, R 3 : 74,077 千円, R 4 : 72,906 千円, R 5 : 73,084 千円, R 6 : 73,348 千円】（再掲）

◇ジェトロを活用した国際人材育成事業

【R 4 : 763 千円, R 5 : 9,727 千円, R 6 : 1,307 千円】

（取組実績）

➤ 経済ミッション等の派遣（再掲）

R 2 : 新型コロナの影響により未実施、R 3 : 2 件、R 4 : 2 件、R 5 : 2 件、R 6 : 1 件（7 月末時点）

➤ 姉妹都市との経済セミナー開催件数

R 2 : 1 件（オンライン）、R 3 : 1 件（オンライン）、R 4 : 1 件、R 5 : 3 件、R 6 : 1 件（7 月末時点）

➤ 企業等誘致件数（再掲）

R 2 : 22 件、R 3 : 22 件、R 4 : 34 件、R 5 : 48 件、R 6 : 10 件（7 月末時点）

戦略Ⅲ 交流人口・関連マーケットの拡大によるビジネスチャンスの創出

※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む

方向性① 戦略的な MICE 誘致

29 MICE 誘致活動の推進

- 令和5年3月に府市で策定した「大阪 M I C E 誘致戦略」に基づき、大阪府、経済界、大阪観光局、M I C E 関連事業者等との連携のもと、万博のインパクトを活用し、学術振興、ビジネスチャンス等の効果が特に期待できる国際会議及び展示会・イベントをメインターゲットとして、M I C E 誘致を推進する。大阪の MICE 関連情報（MICE 施設や観光施設、ユニークベニュー等）の発信や、MICE 主催者と関連施設・事業者等との商談会・視察ツアー等を実施し誘致に取り組むとともに、MICE のプラン策定から開催まできめ細かな支援を行う。【大阪観光局】

◇MICE 開催促進事業

【R 4 : 4,722 千円, R 5 : 4,722 千円】

- ・大阪での MICE 開催を促進するため、大阪府と共同で府内施設を主会場としたオンライン併用型 MICE の開催費用を助成

◇万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業

【R 5 : 10,500 千円, R 6 : 15,750 千円】

- ・万博開催に向け大阪・関西への注目が高まっている中、国際会議をはじめとする MICE を積極的に誘致・創出するため、大阪府と共同で国際会議の誘致及び開催に要する経費の一部を助成

（取組実績）

- 「大阪 MICE 誘致戦略」策定（R 5. 3 月）
- MICE 開催促進事業を利用した件数
R 4 : 8 件、R 5 : 4 件
- 万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業に登録した件数
R 5 : 11 件、R 6 : 1 件（7 月末時点）

30 インテックス大阪の機能維持・向上

- ・大規模見本市・展示会場であるインテックス大阪の機能の維持・向上を図る。

◇インテックス大阪補修等工事

【R 2 : 70,873 千円, R 3 : 44,667 千円, R 4 : 648,228 千円,
R 5 : 2,321,592 千円, R 6 : 3,194,123 千円】

◇インテックス大阪の改修

【R 4 : 26,840 千円, R 5 : 40,425 千円, R 6 : 59,610 千円】

（取組実績）

- R 2 : 連結送水管送水口改修工事（6 号館 D ゾーン）ほか
- R 3 : トップライト改修工事（3～4 号館）ほか
- R 4 : 外壁改修工事（6 号館）ほか
- R 5 : 国際見本市会場来場者駐車場屋上防水改修工事ほか
- R 6 : 特別高圧受変電設備改修工事ほか

31 新規展示会の誘致

- ・ 中小企業への新たな商談機会の提供に向けて、新規展示会の誘致を目的とした展示会主催者への助成を実施する。

◇新規展示会誘致助成事業

【Ｒ２：34,000 千円，Ｒ３：30,450 千円，Ｒ４：30,000 千円，
Ｒ５：30,000 千円，Ｒ６：18,000 千円】（再掲）

（取組実績）

- 新規見本市展示会誘致件数（再掲）

Ｒ２：7 件、Ｒ３：4 件、Ｒ４：1 件、Ｒ５：2 件

- 延べ来場者数（再掲）

Ｒ２：44,355 人、Ｒ３：23,081 人、Ｒ４：8,445 人、Ｒ５：27,718 人

方向性② 観光地域まちづくりの推進

32 観光マーケティング・プロモーションの強化や観光客の受入環境整備

- ・ 大阪版 DM0 である大阪観光局において、マーケティング機能やプロモーション活動の強化、観光案内所の運営や無料 Wi-Fi の整備拡大等の観光客受入環境の整備・充実、地域と一体となった観光地域づくりなど、観光振興の司令塔として DM0 事業戦略に基づく取組を推進する。

◇大阪観光局事業

【Ｒ２：275,000 千円，Ｒ３：275,000 千円，Ｒ４：266,750 千円，
Ｒ５：262,112 千円，Ｒ６：262,112 千円】

（取組実績）

- 来阪外国人旅行消費単価

Ｒ２～４：新型コロナの影響により未調査、Ｒ５：99,430 円

- 大阪観光局の事業評価について、府・市・経済界によるトップ会議にて意見交換（Ｒ６：1 月）

- ・ 「食創造都市 大阪推進機構」による世界的な食関連イベントの開催や、大阪の食の魅力を活用した観光コンテンツ開発等、官民連携により、大阪の食のブランド化や魅力発信・プロモーション活動を推進する。

◇食のブランディング推進事業

【Ｒ２：10,000 千円】

◇食を活用した観光魅力開発事業

【Ｒ２：2,905 千円，Ｒ３：19,905 千円】

（取組実績）

- 着地型観光コンテンツ「あじわい大阪」実施回数

Ｒ２：29 プログラム造成し、57 回開催

Ｒ３：26 プログラム造成し、60 回開催

- ・ 外国人旅行者に安心して大阪の観光を楽しんでもらえるよう、自然災害時等に必要とされる情報を速やかに発信する仕組みを構築し、関係機関との連携により発信情報の充実に取り組む。

◇大阪観光局事業

【Ｒ２：275,000 千円，Ｒ３：275,000 千円，Ｒ４：266,750 千円，
Ｒ５：262,112 千円，Ｒ６：262,112 千円】（再掲）

	◇ＪＲ新大阪駅観光案内所の運営 【Ｒ２：１５，９３６千円，Ｒ３：１５，２５４千円，Ｒ４：１５，９３６千円， Ｒ５：１６，９５８千円，Ｒ６：１９，９３７千円】 ◇観光案内表示板機能強化事業 【Ｒ２：５８，１０５千円，Ｒ３：１０５千円】 （取組実績） ➤ 災害等の非常時における情報発信等について、多様なツールを持つ大阪観光局や大阪府と連携して実施。 ➤ 大阪府とともに、市内宿泊施設と「災害時における旅行者の受入れ等に関する協定」を締結。（３２施設・Ｒ６．７月末時点） ➤ 民間活力を導入した、市域全体の観光案内表示板整備を実施。 33 世界第一級の文化・観光拠点形成・発信 ・ 大阪城公園の世界的観光拠点化に向けて、引き続き PMO 事業を推進し、民間活力を活かして大阪城公園エリアの魅力の創出・強化を図る。 ・ 豊臣期に築かれた初代大坂城の石垣を公開する施設を新たに整備する。 ◇大阪城エリア観光拠点化事業 【Ｒ２：３７４，４０８千円，Ｒ３：１５７，７１２千円，Ｒ４：３２３，８５９千円， Ｒ５：７２３，２２３千円，Ｒ６：７８９，８８４千円】 （取組実績） ➤ PMO 事業者による魅力向上事業の実施（城南エリアにおけるトイレの洋式化（Ｒ３．１０月）等） ➤ 公開施設の建設工事、石垣モニタリング調査を実施 ・ 民間活力を活かして運営する「天王寺公園エントランスエリア」や「てんしばゲートエリア」、天王寺動物園等を核に、周辺の関係事業者等と連携し、天王寺・阿倍野地区の魅力発信や集客促進の取組を進め、エリア全体のブランド力の向上を図る。 ◇天王寺公園・動物園の魅力向上事業 【Ｒ２：７０千円，Ｒ３：１５１千円，Ｒ４：１５１千円，Ｒ５：５０千円， Ｒ６：５０千円】 （取組実績） ➤ てんしば集客数：Ｒ２：約 381 万人、Ｒ３：約 391 万人、Ｒ４：約 539 万人、 Ｒ５：約 633 万人 ➤ ゲートエリア事業者による新世界ゲートエリア（動物学習・休憩施設内店舗）の運営を開始（Ｒ３．３月） ➤ 動物を間近に観察できる新施設「ふれあい家畜・小動物舎」オープン（Ｒ４．４月） ➤ 移転リニューアルした新施設「ペンギン・アシカ舎」オープン（Ｒ５．４月） ・ 本市が所蔵する第一級のコレクションを活用し、新たな美術館（大阪中之島美術館）の整備に取り組み、文化芸術エリアとしての中之島のブランド力や集客力の一層の向上を図る。 ◇大阪中之島美術館の整備事業 【Ｒ２：５，００７，８９７千円，Ｒ３：９，５４４，６９８千円】 （取組実績）令和４年２月２日に大阪中之島美術館を開館
--	--

- 水辺での魅力的な空間やにぎわいの創出、舟運や関連ビジネスの活性化を図るとともに、官民が連携して光により大阪の魅力を発信する「大阪・光の饗宴」の充実に取り組むなど、「水と光のまちづくり」を推進する。

◇水と光のまちづくり推進事業

【R 2 : 35,679 千円, R 3 : 34,107 千円, R 4 : 33,973 千円,
R 5 : 33,973 千円, R 6 : 33,973 千円】

◇大阪・光の饗宴事業

【R 2 : 185,497 千円, R 3 : 151,794 千円, R 4 : 151,794 千円,
R 5 : 151,794 千円, R 6 : 134,843 千円】

(取組実績)

【R 2】

➤ 大阪・光の饗宴 来街者数

約 1,211 万人

※OSAKA 光のルネサンスは新型コロナウイルス感染拡大の影響により中央公会堂
プロジェクションマッピング等は開催を中止。

➤ 大阪・光の饗宴 エリアプログラム

14 団体・16 プログラムと連携

➤ 新型コロナ対策として、中央公会堂プロジェクションマッピング映像のほか、360
度動画など自宅で楽しめるコンテンツを配信。

➤ 舟運利用者数

約 6.6 万人（前年度比約 94.8 万人減）

【R 3】

➤ 大阪・光の饗宴 来街者数

約 2,060 万人

➤ 大阪・光の饗宴 エリアプログラム

16 団体・17 プログラムと連携

➤ 新型コロナ対策として、中央公会堂プロジェクションマッピング映像のほか、360
度動画など自宅で楽しめるコンテンツを配信。

➤ 舟運利用者数

約 9.4 万人

➤ 中之島 GATE ターミナル整備に関するサウンディング型市場調査を実施（7～9 月）

➤ 東横堀川に新たな水辺のにぎわい拠点「β 本町橋」をオープン（8 月）

【R 4】

➤ 大阪・光の饗宴 来街者数

約 2,752 万人

➤ 大阪・光の饗宴 エリアプログラム

23 団体・25 プログラム

➤ 3 年ぶりに中央公会堂プロジェクションマッピングや光のマルシェのほか、地域等
と連携したコンテンツを実施。

➤ 舟運利用者数

約 55 万人

【R 5】

➤ 舟運利用者数

約 133 万人

	➤ 大阪・光の饗宴 来街者数 約 2,729 万人 ➤ 大阪・光の饗宴 エリアプログラム 29 団体・31 プログラム ➤ 中央公会堂プロジェクションマッピングや光のマルシェのほか、舟運事業者や地域等と連携したコンテンツを実施。 【R 6】 ➤ 大阪・光の饗宴事業：事業者決定し、周辺施設及び関係機関と調整中
	<u>34 エリアブランドの向上</u> ・ 地域自らが行う新たな観光地域まちづくりの仕組みとして、「大阪市版 TID（Tourism Improvement District：観光産業改善地区）」のモデル事業を推進し、制度の構築・実施を図る。 ◇大阪市版 TID モデル創出事業 【R 2：24,383 千円】 （取組実績） ➤ 大阪市版 TID モデル事業協議会にて民間事業者との意見交換を実施し、官民連携による観光地域まちづくりの推進に向けた官民協議会の設置を決定。 ➤ 新型コロナの影響によるインバウンドをはじめとした来阪観光客の激減により、効果的なモデル事業の実施が見込めず、実施を延期。 ➤ 大阪市版 TID 官民協議会を設置（R 3. 7 月）
	<u>35 国際的なスポーツイベントの開催</u> ・ スポーツによる都市魅力の創造・発信に向けて、国際的なスポーツ競技大会（大阪城トライアスロン大会等）の誘致・開催をはじめ、国内最大級の都市型市民マラソンである「大阪マラソン」のさらなる魅力向上、「ワールドマスタースゲームズ 2021 関西」に向けた機運醸成などに取り組む。 ◇東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ機運醸成事業 【R 2：40,000 千円，R 3：49,101 千円，R 4：10,000 千円】 ◇ワールドマスタースゲームズ 2021 関西 【R 2：18,596 千円，R 3：18,716 千円】 ◇大阪マラソンの開催 【R 2：90,000 千円，R 3：90,000 千円，R 4：90,000 千円， R 5：90,000 千円，R 6：90,000 千円】 ◇スポーツ競技大会の開催 【R 2：17,000 千円，R 3：17,200 千円，R 4：17,000 千円， R 5：17,000 千円，R 6：17,000 千円】 （取組実績） 【R 2】 ➤ オリンピック・パラリンピック機運醸成イベントとして、大阪城トライアスロン大会においてイベントを実施（10 月）。 ➤ 新型コロナの影響により、ワールドマスタースゲームズ 2021 関西延期。コロナ禍における閉会式のあり方について、大会組織委員会と協議。 ➤ 新型コロナの影響により、第 10 回大阪マラソン中止。 ➤ 新型コロナの影響により、大阪市長杯 2020 世界スーパージュニアテニス選手権大会中止。

	【R3】 ➤ 新型コロナの影響により、大阪城トライアスロン大会中止 ➤ 大阪マラソンとびわ湖毎日マラソンの統合決定（7月） ➤ 新型コロナの影響により、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の延期を決定（10月） ➤ 第11回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会開催（新型コロナの影響によりエリート部門のみ実施）（2月） ➤ 新型コロナの影響により、大阪市長杯 2021 世界スーパージュニアテニス選手権大会を、グレードAからグレード4に変更して開催（10月） 【R4】 ➤ 「ワールドマスターズゲームズ関西」の新会期（2027年5月）決定（7月） ➤ 大阪城トライアスロン 2022 開催（10月） ➤ 大阪市長杯 2022 世界スーパージュニアテニス選手権大会開催（10月） ➤ 第11回大阪マラソン開催（2月） 【R5】 ➤ 大阪城トライアスロン 2023 開催（5月） ➤ 大阪市長杯 2023 世界スーパージュニアテニス選手権大会開催（10月） ➤ 第12回大阪マラソン開催（2月） 【R6】 ➤ 大阪城トライアスロン 2024 開催（5月）
	<u>36 プロスポーツとの連携による市場拡大等</u> ・ プロスポーツチームとの連携により、まちづくりやスポーツ関連市場拡大に向けた取組を推進する。 ◇舞洲スポーツ振興事業（舞洲プロジェクト） 【R2：18,000千円，R3：14,000千円，R4：14,000千円， R5：14,000千円，R6：4,000千円】 （取組実績） ➤ ポータルサイトやSNS・オウンドメディアによる舞洲プロジェクトの魅力発信、舞洲プロジェクトのスポーツ体験イベント、スポーツボランティアの育成を実施。 ➤ スポーツ関連の展示会に出展するとともにセミナーを実施し、ビジネスマッチングを促進するとともに、舞洲プロジェクトに対するパートナー獲得に向けた商談を実施。 ➤ IoT、ロボット、AI等の先端技術を活用した新たなビジネスを創出するため、プロスポーツチームが拠点とする舞洲の体育館・球技場・野球場など実際に稼働している施設を実証実験フィールドとして提供。

【横断的な重点課題】 大阪・関西万博を契機とした地域経済活力の向上 ※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む	
	<u>37 2025年大阪・関西万博の成功に向けた取組</u> ➤ 2025年大阪・関西万博の成功に向けて、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下「博覧会協会」）をはじめ、国や大阪府、経済団体等と密接に連携しながら着実に開催準備を推進する。

◇国際博覧会推進事業

【R 2 : 324, 851 千円, R 3 : 4, 245, 256 千円, R 4 : 5, 394, 774 千円,
R 5 : 13, 775, 749 千円, R 6 : 65, 457, 983 千円】

◇大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業

【R 5 : 340, 000 千円, R 6 : 350, 259 千円】

◇水と光を活かした東西軸の魅力創出事業

【R 5 : 5, 000 千円, R 6 : 241, 532 千円】

◇大阪文化芸術祭事業

【R 5 : 290, 000 千円, R 6 : 390, 000 千円】

◇スポーツを活用した万博の機運醸成（～いのち輝くスポーツプロジェクト～）

【R 5 : 90, 000 千円, R 6 : 93, 131 千円】

◇飲食店等における外国人観光客受入環境高度化事業

【R 6 : 45, 000 千円】

◇万博ホストシティとしての食のおもてなし事業

【R 6 : 80, 000 千円】

（取組実績）

【R 2】

- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- 「万博の桜 2025」寄附募集開始（4 月）
- 2025 年日本国際博覧会来場者輸送計画検討会（協会開催）への参加（2 月）及び専門部会（【鉄道】7 月、【道路】12 月）への参加
- 2025 年日本国際博覧会のロゴマーク策定（8 月）
- 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラム開始（10 月）
- BIE（博覧会国際事務局）総会において、登録申請の承認（12 月）
- 2025 年日本国際博覧会の基本方針閣議決定（12 月）
- 2025 年日本国際博覧会の基本計画策定（12 月）
- 大阪パビリオン推進委員会の設立（R 3. 2 月）、委員総会開催（3 月）
- 大阪パビリオンにかかる出展参加基本構想の策定（3 月）

【R 3】

- 「万博の桜 2025」寄附募集（通年）
- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの実施（通年）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（6 月、8 月、9 月、1 月、3 月）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集を開始（7 月）
- 国において「2025 年に開催される日本国際博覧会（大阪・関西万博）に関連するインフラ整備計画について」を策定（8 月）
- 中之島ウィンターパーティ～Road to Expo 2025～において大阪・関西万博の PR を実施（11 月）
- 2020 年ドバイ国際博覧会のジャパンデーパレードにおいて、横断幕、マスク、法被、小旗を活用し、次期開催地である大阪・関西の PR を実施（12 月）
- 国において「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver. 1」を策定（12 月）
- 「万博推進局」を大阪府と共同設置（1 月）
- バーチャル大阪を本格オープン（2 月）
- 博覧会協会において、「会場整備参加」及び「運営参加」の募集（2 月）

- 博覧会協会において、大阪・関西万博公式キャラクターデザイン最優秀作品を決定（３月）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会において「大阪パビリオン出展基本計画」を策定（３月）
- 2020 年ドバイ国際博覧会の BIE デーや閉幕式において次期開催地である大阪・関西の PR を実施（３月）

【R4】

- 「万博の桜 2025」寄附募集（通年）
- 公共施設での PR（カウントダウンロックの設置等）（通年）
- 行政ネットワークを活用した取組み（全国知事会、指定都市市長会での万博 PR 及び意見交換（通年）
- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- 博覧会協会において、「TEAM EXP0 2025」プログラムの実施（通年）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）
- 関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyaku の派遣等）（通年）
- 大阪府・市で 2025 年大阪・関西万博推進本部を設置（４月）
- 「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver1.0)」を策定（４月）
- （公財）大阪産業局・大阪商工会議所による大阪パビリオンへの参加をめざす中小企業・スタートアップを支援する事業企画案の募集を開始（５月）
- 2025 年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会にて「大阪・関西万博 来場者輸送基本方針」を策定（６月）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（６月、11 月、2 月）
- 国において「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver. 2」を策定（６月）
- 博覧会協会において「持続可能性に配慮した調達コード」を策定（６月）
- 一般社団法人 2025 年日本国際博覧会大阪パビリオンを設立（７月）
- 大阪パビリオンの名称「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」を公表（７月）
- 博覧会協会と連携した開幕 1000 日前イベント「1000 Days to Go!（セン・デイズ・トゥー・ゴー）」を東京・大阪で開催（７月）
- 大阪・関西万博の大阪・関西万博公式キャラクター愛称が「ミyakumiyaku（MYAKU-MYAKU）」に決定（７月）
- 大阪・関西万博オフィシャルテーマソング 『この地球(ほし)の続きを』（コブクロ）を発表（７月）
- 博覧会協会において、「運営参加」の募集（７月、10 月、12 月）
- 2025 年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会にて「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン初版）」を策定（10 月）
- 大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの交付が開始され、府・市の公用車に装着（10 月）
- 大阪パビリオンの建築施工請負契約を締結（11 月）
- 国において「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver. 3」を策定（12 月）
- 博覧会協会において、「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」を開設し、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集を開始（12 月）

- バーチャル大阪αU metaverse 版を公開（３月）
- ボランティア事業の運営業務を担う事業者の公募を開始（３月）
- 【R5】
- 「万博の桜 2025」寄附募集（通年）
- 公共施設での PR（カウントダウンロックの設置等）（通年）
- 行政ネットワークを活用した取組み（全国知事会、指定都市市長会での万博 PR 及び意見交換や大阪府・千葉県・福岡市の連携による全国的な機運醸成の取組み）（通年）
- 関係機関主催イベントとの連携（万博 PR ブースの出展、講演、ミyakumiyaku の派遣等）（通年）
- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）
- 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの実施（通年）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）
- 博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（通年）
- 大阪ヘルスケアパビリオンの建築工事開始（４月）
- 官民一体となった機運醸成の取組みを推進する「地域連携タスクフォース」を万博推進局に設置（４月）
- 「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver2.0)」を策定（４月）
- 2025 年大阪・関西万博推進本部会議（第 2 回～ 9 回）の開催（４月、８月、９月、10 月、11 月、12 月、１月（２回））
- 2025 年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会において、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン）」を改定（５月、11 月）
- 博覧会協会に「機運醸成委員会」を設置し、「機運醸成行動計画 ver.1」を策定（６月）
- 博覧会協会へ自治体参加催事の企画案（概要）を提出（６月）
- 国において「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver.4」を策定（６月）
- 大阪・関西万博ボランティアの運営等業務にかかる委託契約を締結（７月）
- 府内すべての市町村で構成する「市町村催事参加委員会」を設置（７月）
- 博覧会協会において、「会場整備参加」及び「運営参加」の募集（７月、３月）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（７月、３月）
- 博覧会協会において、「会場整備参加」及び「運営参加」の募集（７月、３月）
- PR 重点期間において「もうすぐ万博開幕 500 日前！EXPO FES！」や「大阪来てな！万博開催 500 日前イベント」など万博 PR イベントの実施(10 月～12 月)
- 大阪市内都心部を中心に、主要な道路、駅の周辺等において、バナーフラッグやサイネージ等を掲出し、集中的に PR を展開（10 月～12 月）
- 博覧会協会へ自治体参加催事の企画書を提出（11 月）
- 大阪・関西万博ボランティアの募集（１月～４月）
- 国において「2025 年大阪・関西万博アクションプラン Ver.5」を策定（１月）
- 大阪ヘルスケアパビリオンの運営及びび催事の計画策定（３月）
- 大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」において出展する中小企業・スタートアップを公表（３月）
- 大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業
- ・大阪デスティネーションキャンペーン推進協議会を設立（８月）、推進協議会開催

(8月、11月、1月、3月)

・大阪デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンオープニングイベントを開催(3月)

・EXP02025 関西観光推進協議会を開催(7月、11月)

・万博開催500日前イベントほか、市内及び府域にて集客・周遊イベントを実施

- 水と光を活かした東西軸の魅力創出事業：現地調査及び実証実験の実施
- 大阪文化芸術祭事業における文化芸術プログラムへの参加人数：93,850人
- 市内3カ所(大阪城公園、てんしば、中之島公園)にて大阪いのち輝くスポーツプロジェクト「おおさかネクスポ2023」を開催(5月、11月)

【R6】

- 公共施設でのPR(カウントダウンロックの設置等)(通年)
- 行政ネットワークを活用した取組み(全国知事会、指定都市市長会での万博PR及び意見交換)(通年)
- 関係機関主催イベントとの連携(万博PRブースの出展、講演、ミyakミyakの派遣等)(通年)
- 大阪市内都心部を中心に、主要な道路、駅の周辺等において、バナーフラッグやサイネージ等を掲出し、PRを展開(通年)
- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載(通年)
- 博覧会協会において、「TEAM EXP0 2025」プログラムの実施(通年)
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集(通年)
- 2025年大阪・関西万博推進本部会議(第10回)の開催(4月)
- 博覧会協会において設置している「機運醸成委員会」にて、「機運醸成行動計画ver.2」を策定(4月)
- 『開幕1年前「いくぞ!万博」フェスティバル』の実施(4月)
- 「大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成アクションプラン(ver3.0)」を策定(4月)
- 大阪の魅力や特色を発信する様々な催事を「(仮称)大阪ウィーク」として開催できるように、企画調整・実施運営業務の委託事業者を決定(4月)
- 大阪ヘルスケアパビリオンの利活用に関するマーケットサウンディングの結果公表(5月)
- 大阪ヘルスケアパビリオンアテンダントの募集(5月)
- 博覧会協会において、「持続可能性に配慮した調達コード」を第3版として改訂(5月)
- いくぞ!万博 大屋根リング見学ツアー(中学生・高校生向け)を実施(6月)
- 大阪・関西万博ボランティアの抽選結果通知及び面談開始(6月)
- 2025年日本国際博覧会来場者輸送対策協議会において、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針(アクションプラン)」を改定(7月)
- 大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業
 - ・大阪デスティネーションキャンペーンプレキャンペーンを開催(4月～6月)
 - ・大阪デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議・エクスカーションを実施(7月)
 - ・EXP02025 関西観光推進協議会を開催(4月)
- 水と光を活かした東西軸の魅力創出事業：事業者決定し、関係機関と調整中
- 市内1カ所(グランフロント大阪うめきた広場)にて大阪いのち輝くスポーツプロジェクト「おおさかネクスポ2024」を開催(5月)飲食店等における外国人観光客受入環境高度化事業を開始(7月)

	➤ 「万博ホストシティとしての食のおもてなし事業」の企画・運營業務を担う事業者を選定（５月） <u>38 地域産業魅力の世界への発信、海外販路開拓の支援</u> - 卓越した技術、独自の製品・サービス等の地域の産業資源などの魅力を世界に向けて情報発信し、中小企業の海外販路の開拓等を支援する。 ◇大阪の産業資源を活用した魅力発信事業 【Ｒ２：３７，１７８千円，Ｒ３：３７，０９３千円】（再掲） ◇頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業 【Ｒ４：４０，０６９千円，Ｒ５：４０，０６９千円，Ｒ６：４０，０６９千円】（再掲） ◇万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業 【Ｒ５：１０，０００千円，Ｒ６：１５，７５０千円】 ◇万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業 【Ｒ６：７３，４８７千円】 ◇海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出 【Ｒ６：５９，５００千円】 ◇大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業 【Ｒ５：２８，９５８千円，Ｒ６：６５，１３１千円】 （取組実績） ➤ 「大阪らしい魅力」を発信する参加企業（魅力発信事業参加企業数）（再掲） Ｒ２：１８社、Ｒ３：１８社、 ➤ 頑張る中小企業のビジネスチャンス獲得支援事業による経営力強化件数 Ｒ４：４０件、Ｒ５：４１件 ➤ 発掘企業等におけるマッチング件数 Ｒ４：４１９件、Ｒ５：３８０件 ➤ 万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業に登録した件数（再掲） Ｒ５：１１件、Ｒ６：１件（７月末時点） ➤ 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業 Ｒ６：万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施 ➤ 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出 Ｒ６：４月大阪海外ビジネスワンストップ窓口開設 ➤ 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業 Ｒ５：ファムトリップの実施、ビジネスプロモーションツールの作成、 大阪・関西万博参加国に対するニーズ調査の実施 Ｒ６：事業実施中 <u>39 観光消費の取り込みによる商業集積の活性化</u> - 商店街等におけるインバウンド等の観光誘客に向けたおもてなし機運の醸成、先進的なモデル事例の創出等を支援し、観光消費の獲得による商業集積の活性化に取り組む。 ◇「商都大阪」活性化推進事業 【Ｒ２：１０，０００千円，Ｒ３：１０，０００千円，Ｒ４：１０，０００千円， Ｒ５：１０，０００千円】（再掲） （取組実績） ➤ 「商都大阪」活性化推進事業による、事業参加者・団体が観光誘客に取り組みたい
--	---

	と回答した割合（再掲） R 2：新型コロナの影響によりセミナー開催なし R 3：100% 「商都大阪」活性化推進事業による、地域商業の活性化が図られた割合（再掲） R 4：75% R 5：65%
	<u>40 大阪・関西万博を見据えた中小企業等による新ビジネス創出の支援</u> - 大阪・関西万博と関連の深いウェルネスやライフサイエンス分野、大阪でのスマートシティ化の動き、第4次産業革命の進展等に関連し、新たな製品・サービス開発や新事業展開、大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」を先取りした実証実験の支援など、中小企業等の革新に向けたチャレンジを促進する。 ◇ソフト産業プラザ事業 【R 2：123,101 千円】（再掲） ◇IoT・ロボットビジネス創出事業 【R 2：37,392 千円】（再掲） ◇大阪産業局事業交付金 【R 3：676,038 千円, R 4：669,674 千円, R 5：669,228 千円, R 6：679,644 千円】（再掲） ◇5Gビジネス創出プロジェクト 【R 3：49,605 千円, R 4：61,705 千円, R 5：88,426 千円, R 6：81,323 千円】（再掲） ◇カーボンニュートラル（CN）等新技術ビジネス創出支援事業 【R 4：30,000 千円, R 5：30,000 千円, R 6：30,000 千円】（再掲） ◇イノベーション創出にかかる事務費 【R 3：126,537 千円, R 4：130,996 千円, R 5：129,975 千円, R 6：129,500 千円】（再掲） ◇万博を契機としたものづくり中小企業の技術開発支援事業（Beyond5G） 【R 5：59,400 千円, R 6：82,910 千円】 ◇「空飛ぶクルマ」の実現に向けた取組の促進 【R 5：52,000 千円, R 6：224,560 千円】 （取組実績） ➤ ソフト産業プラザ（インキュベーションオフィス）入居率（再掲） R 3：92.2%、R 4：94.0%、R 5：86.2%、R 6：79.4%（7月末時点） ➤ 5Gの技術・ビジネスサポート拠点「5G X LAB OSAKA」において「5Gビジネス創出プロジェクト」として、5Gの機運醸成からビジネス構築までの各種プログラム（セミナー・研究会、ビジネスプランコンテスト、マッチングプログラム、5Gビジネス補助事業）を実施。（R 3～）（再掲） ➤ 実証実験の支援件数（IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラムによる支援件数）（再掲） R 3：10 件、R 4：12 件、R 5：13 件、R 6：6 件（7月末時点） ➤ 万博を契機としたものづくり中小企業の技術開発支援事業（Beyond5G） R 5：対象事業者5グループ10社選定、原材料の探索と選定を実施 全国公設試初となる170GHzまで対応可能な誘電動特性評価システムを設置 R 6：対象事業者の研究開発を技術的にサポート、測定システムを拡充

	➤ 「空飛ぶクルマ」の実現に向けた取組の促進 R 5 : 空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助対象事業として 8 件交付決定 R 6 : 空飛ぶクルマ社会実装促進事業補助対象事業として 7 件交付決定 (7 月末時点) <u>41 「SDGs 経営」の普及促進・推進支援</u> - 持続可能な開発目標 (SDGs) を経営に組み込む「SDGs 経営」の普及促進や推進の支援、新たな SDGs ビジネスの開発支援等に取り組み、中小企業等の企業価値の向上や競争力の強化につなげる。 ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業 【R 2 : 327, 126 千円】(再掲) ◇大阪産業局事業交付金 【R 3 : 676, 038 千円, R 4 : 669, 674 千円, R 5 : 669, 228 千円, R 6 : 679, 644 千円】(再掲) ◇ATC グリーンエコプラザ事業 【R 2 : 214, 078 千円, R 3 : 214, 078 千円, R 4 : 215, 220 千円, R 5 : 208, 257 千円, R 6 : 208, 257 千円】(再掲) (取組実績) ➤ ATC グリーンエコプラザ内「環境・SDGs ゾーン」において、企業の環境や SDGs に関する取組等についての情報発信や SDGs に関するセミナーを実施。 ➤ 大阪産業創造館における SDGs に関するセミナー、イベント等の実施件数 R 2 : 1 件、R 3 : 1 件 R 4 : 2 件、R 5 : 2 件 <u>42 大阪・関西万博への企業参画機会の提供</u> - 関係機関等と連携し、企画立案に資する企業等からの提案受付や対応を行うほか、様々な形態での出展 (パビリオン、期間限定、小規模、バーチャル等) や営業参画のあり方などについて検討を進め、中小企業等への参画機会の提供につなげる。 ◇国際博覧会推進事業 【R 2 : 324, 851 千円, R 3 : 4, 245, 256 千円, R 4 : 5, 152, 774 千円, R 5 : 13, 775, 749 千円, R 6 : 65, 457, 983 千円】(再掲) ◇大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業 【R 5 : 28, 958 千円, R 6 : 65, 131 千円】(再掲) ◇海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出 【R 6 : 59, 500 千円】(再掲) ◇万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業 【R 6 : 73, 487 千円】(再掲) (取組実績) 【R 2】 ➤ 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載 (通年) (再掲) ➤ 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラム開始 (10 月) (再掲) ➤ 大阪のパビリオン等における展示・催事の具体的コンテンツの検討に資することを目的に、2025 年に実現したいコンテンツのアイデア募集 (11 月) ➤ 大阪パビリオン推進委員会の設立 (R 3. 2 月)、委員総会開催 (3 月) (再掲) ➤ 大阪パビリオンにかかる出展参加基本構想の策定 (3 月) (再掲) 【R 3】 ➤ 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載 (通年) (再掲) ➤ 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラム開始 (10 月) (再掲)
--	--

- 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（６月、８月、９月、１月、３月）（再掲）
- 大阪パビリオンにおける中小企業・スタートアップの技術力、魅力を発信する「展示・出展ゾーン」の取りまとめについて、大阪産業局と大阪商工会議所が共同して担うことに合意（７月）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集を開始（７月）（再掲）
- 博覧会協会において、企業・団体を対象とした大阪・関西万博「パビリオン出展」募集開始（８月）
- 博覧会協会において、シンポジウム「2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けた共創とビジネスチャンス」開催（12 月）
- バーチャル大阪を本格オープン（２月）（再掲）
- 博覧会協会において、2025 年日本国際博覧会会場整備参加・運営参加の提案募集を開始（２月）
- 博覧会協会において、大阪・関西万博 テーマ事業「シグネチャーパビリオン」協賛企業を公表（２月）（※以後、随時発表）
- 博覧会協会において、「会場整備参加」及び「運営参加」の募集（２月）（再掲）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会において「大阪パビリオン出展基本計画」を策定（３月）（再掲）

【R 4】

- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの実施（通年）（再掲）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）（再掲）
- （公財）大阪産業局・大阪商工会議所による大阪パビリオンへの参加をめざす中小企業・スタートアップを支援する事業企画案の募集を開始（５月）（再掲）
- 博覧会協会において、大阪・関西万博民間パビリオン出展者構想概要を発表（５月）
- 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（６月、11 月、２月）（再掲）
- 博覧会協会において「持続可能性に配慮した調達コード」を策定（６月）（再掲）
- 博覧会協会において、大阪・関西万博「広報・プロモーション参加」協賛提案の募集を開始（７月）
- 博覧会協会において、2025 年日本国際博覧会運営参加（第 2 回）及び「Co-Design Challenge」プログラムへの提案募集を開始（７月）
- 一般社団法人 2025 年日本国際博覧会大阪パビリオンを設立（７月）（再掲）
- 大阪パビリオンの名称「大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn」を公表（７月）（再掲）
- 博覧会協会において、「運営参加」の募集（７月、10 月、12 月）（再掲）
- 大阪パビリオンの建築施工請負契約を締結（11 月）（再掲）
- 博覧会協会において、「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」を開設し、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集を開始（12 月）（再掲）

【R 5】

- 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）（再掲）
- 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの実施（通年）（再掲）
- 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）（再掲）
- 博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（通年）（再掲）
- 大阪ヘルスケアパビリオンの建築工事開始（４月）（再掲）

	➤ 大阪パビリオン推進委員会委員総会を開催（７月、３月）（再掲） ➤ 博覧会協会において、「会場整備参加」及び「運営参加」の募集（７月、３月）（再掲） ➤ 大阪ヘルスケアパビリオンの運営及び行催事の計画策定（３月）（再掲） ➤ 大阪ヘルスケアパビリオン「リボーンチャレンジ」において出展する中小企業・スタートアップを公表（３月）（再掲） ➤ 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業 ファムトリップの実施、ビジネスプロモーションツールの作成、大阪・関西万博参加国に対するニーズ調査の実施（再掲） 【Ｒ６】 ➤ 博覧会協会において、同協会が行う契約情報の掲載（通年）（再掲） ➤ 博覧会協会において、「TEAM EXPO 2025」プログラムの実施（通年）（再掲） ➤ 博覧会協会において、「広報・プロモーション参加」の募集（通年）（再掲） ➤ 博覧会協会において設置した「2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス」により、ロゴマークやキャラクター等のライセンスを使用した商品の製造・販売事業者の募集（通年）（再掲） ➤ 大阪ヘルスケアパビリオンの利活用に関するマーケットサウンディングの結果公表（５月）（再掲） ➤ 大阪ヘルスケアパビリオンアテンダントの募集（５月）（再掲） ➤ 海外企業等のニーズに合わせたビジネス交流の創出 大阪海外ビジネスワンストップ窓口開設（４月）（再掲） ➤ 大阪・関西万博での中小企業の参画機会創出事業 Ｒ５：Ｒ６：事業実施中（再掲） ➤ 万博を契機とした地域のものづくり魅力発信事業 Ｒ６：万博会場内で開催される「自治体参加催事（大阪ウィーク）」出展に向けた事前準備を実施（再掲）
「ウィズコロナ」における取組について ※【 】内の数字は予算額、内数・再掲含む	
43 事業継続に向けた支援	・ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、経営に影響を受けている中小企業に対し、セーフティネット保証等の認定を通じた資金繰り支援を行う。 ・ 感染防止対策として実施される大阪府の営業時間短縮要請等に応じた事業者に対し、協力金の支給を行うなど、事業継続の下支えに取り組む。 ◇セーフティネット保証の認定等にかかる事務費等 【Ｒ２：63,150 千円、Ｒ３：48,315 千円、Ｒ４：34,882 千円、 Ｒ５：32,950 千円、Ｒ６：37,930 千円】（再掲） ◇感染拡大防止のための休業要請支援金 【Ｒ２：9,252,750 千円】 ◇営業時間短縮協力金（総額） 【Ｒ２：102,560,000 千円、Ｒ３：19,765,891 千円、Ｒ４：642,715 千円】 ◇飲食店等への上下水道料金特例減免措置 【Ｒ３：435,406 千円】（※受付・審査事務：水道局） ◇新型コロナウイルス感染症対策設備整備促進事業 【Ｒ３：195,230 千円】

(取組実績)

- セーフティネット保証等認定件数実績（再掲）
R 2 : 64,982 件、R 3 : 10,425 件、R 4 : 9,765 件、R 5 : 11,084 件、
R 6 : 3,164 件（7 月末時点）※セーフティネット保証 2 号（取引先のリストラ等の事業活動の制限）による認定（R 5 : 2 件、R 6 : 1 件）を除いた件数
- 休業要請支援金（大阪市内事業者分）
支給件数：約 27,500 件、支給額：約 168 億円（うち、市負担約 84 億円）
- 営業時間短縮協力金
R 2. 8 月（ミナミ地区）支給件数・額：約 2,800 件・約 8.4 億円
R 2. 11 月（北・中央）支給件数・額：約 13,000 件・約 75 億円
R 2. 12 月（市全域）支給件数・額：約 28,000 件・約 430 億円
R 3. 3 月（第 3 期・市上乗せ分）支給件数・額：約 3,200 件・約 25 億円
R 3. 5 月（第 5 期・市上乗せ分）支給件数・額：約 2,600 件・約 18 億円
R 3. 6 月（第 6 期・市上乗せ分）支給件数・額：約 2,700 件・約 10 億円
R 3. 6～8 月（第 7 期・市上乗せ分）支給件数・額：約 20,000 件・約 87 億円
R 3. 9 月（8 期・市上乗せ分）支給件数・額：約 2,700 件・約 15 億円
- 上下水道料金特例減免
件数：2,432 件
- 新型コロナウイルス感染症対策設備整備促進事業（市は 10 万円超の不足分を負担）
支給件数：2,795 件、支給額：約 1.9 億円

44 事業環境の変化への適応支援

- 大阪産業創造館における支援プログラムのリモート手法の導入や、大阪産業技術研究所における新型コロナウイルス感染症関連を含む新商品開発に向けた支援など、ウィズコロナに対応した中小企業支援機能の強化を図る。
- 中小企業の DX 促進や生産性向上に向けて、大阪産業創造館での専門相談や普及啓発に資するセミナーの実施等に取り組み、課題解決を支援する。
 - ◇創業・新事業創出・経営革新支援事業
【R 2 : 327,126 千円】（再掲）
 - ◇ものづくり中小企業技術開発支援事業
【R 2 : 38,786 千円】
 - ◇ウィズコロナに対応した中小企業支援機能の強化
【R 3 : 25,800 千円】
 - ◇中小企業 DX 加速化支援事業
【R 3 : 44,246 千円】
 - ◇DX 高度化支援事業
【R 4 : 29,627 千円、R 5 : 29,627 千円、R 6 : 29,627 千円】（再掲）
 - ◇小規模事業者の事業継続に向けた販路拡大等のサポート
【R 5 : 70,000 千円】

(取組実績)

- 社会経済環境の変化に対応した中小企業支援に取り組むため、産業創造館においてリモート手法を活用した各種支援プログラムを実施。
- 中小企業が直面する DX 化に向けた課題解決を支援する「DX 推進相談窓口」を設置（R 3. 4 月）。

	➤ ものづくり中小企業の新たな研究開発の支援に向けて、大阪産業技術研究所（森之宮センター）に、新型コロナ関連の新商品開発に不可欠な基盤的装置を整備 ➤ DX高度化支援事業による経営力強化件数 R4：156件、R5：151件、R6：17件（7月末時点） ➤ 小規模事業者の事業継続に向けた販路拡大等のサポート R5：66件
	<u>45 地域の消費・需要の喚起・回復</u> • 地域の消費・需要を喚起する、観光消費の促進に向けた取組や MICE 開催支援・促進等を通じて、地域経済の活性化を図る。 ◇国内旅行消費喚起事業 【R2：299,000千円、R3：550,000千円、R4：1,000,000千円】 ◇大阪城天守閣を中心とした集客促進事業（90周年記念事業） 【R4：262,760千円】 ◇少人数利用・飲食店応援キャンペーン事業 【R2：216,000千円】 ◇ミナミで買い物応援キャンペーン事業 【R2：230,000千円】 ◇買い物応援キャンペーン事業 【R3：9,938,000千円】 ◇商品券を活用した需要喚起事業 【R4：10,762,000千円】 ◇大阪市プレミアム付商品券 2023 事業 【R5：13,803,239千円、R6：2,665,400千円】 ◇商店街活性化支援事業 【R2：32,843千円】 ◇商店街空き店舗マッチング促進事業 【R4：5,000千円、R5：1,200千円、R6：1,200千円】（再掲） ◇インテックス大阪における使用料減免 【R3（歳入）：△529,433千円】 ◇MICE 開催支援事業 【R3：650,000千円】 ◇MICE 開催促進事業 【R4：2,722千円、R5：4,722千円】（再掲） （取組実績） ➤ 府内の宿泊施設が提供する特典付き宿泊割引プランを利用された方に、キャッシュレスポイントを還元する観光キャンペーンを実施（1人1泊につき2,500円相当）（R2.6月～R3.1月） ポイント還元額：397,825千円（うち、市負担額198,912千円） ➤ 大阪府との共同により、新しい生活様式の定着をめざして、4人以下での飲食など、条件を満たして飲食をした利用者にポイントを付与（予約1件につき2,000円分、ミナミ地区においては2,000円分を追加付与（市負担））（R2.9～11月） ポイント付与額（ミナミ地区上乘せ分）：186,968千円 ➤ 休業要請等による影響を受けたミナミ地区において、小売店舗等の支援等を目的として、ミナミ地区の小売店舗等でのキャッシュレス決済による商品等の購入者に対

	して、決済金額の 20%（上限 3,000 円分）のポイント付与を実施（R 2.11～12 月） ポイント付与額：134,709 千円 ➤ 大阪城天守閣復興 90 周年記念事業を実施（R 3. 8 月～R 4.11 月） ➤ キャッシュレス決済を活用した需要喚起により、新型コロナの影響を受けた市内の小売店舗等を支援するとともに、新しい生活様式に対応した店舗の利用促進やキャッシュレス決済の普及を目的として、市内の対象店舗において、対象の決済で商品等を購入した方に、購入額の 20%分のポイントを還元（R 3.12 月） ポイント還元金額：1,413,607 千円 ➤ 市内の小売店舗等を支援するため、市内の対象店舗で利用可能なプレミアム付商品券（プレミアム率 30%）を発行 決済総額：35,611,784 千円 ➤ 物価高騰による市民の暮らしと企業活動への影響を踏まえ、消費の下支えを通じた地域経済の活性化を図るためプレミアム付商品券（プレミアム率 30%）を発行 決済総額：56,184,652 千円 ➤ 地域経済の活性化への貢献が大いに期待できる MICE を大阪に呼び込み、大阪から MICE を再起動・社会経済活動を再開させるため、インテックス大阪で開催される MICE について、施設基本使用料を半額にし、大阪での MICE 開催を支援（R 3 年度） ➤ 新型コロナウイルス感染症対策と社会経済活動の共生を図るとともに、MICE のさらなる活性化を推進するため、感染症対策に対応した施設づくりを実施 インテックス大阪 換気設備更新工事（2～5 号館ルーフファン・水切・カバー）、空調設備更新工事（2～4、6 号館）
--	---